

雲出 北陵月報

No. 389

平成30年1月31日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷



年頭にあたって

高校教頭 松本克己

明けましておめでとうございます。新年を迎え、生徒の皆さん、ご家族の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申しあげます。

さて、年号の変遷も話題となる今日この頃ですが、平成も三十年という節目を迎えました。今年の干支は戌です。もともと戌には、犬という意味はありません。古代中国では訓読みで「いぬ」と読みましたが、本来は「ジュツ」と読み、刈り取った作物をまとめた様子を意味する漢字だったようです。十二支の中では十一番目です。犬は寄り道するから十一番目に来るとい説もありませんが、皆さんもよくご存知の十二支の成り立ちの話の方が有名です。その逸話は、神さまが元旦の朝に早く集まった者を十二番目までその年の守り神にしてあげようと言いました。一番早かったのは鼠ですが、実は猫もいました。ところが猫は集まる日を忘れ鼠に聞きました。しかし、鼠は元旦ではなく二日と伝えたのです。ですから猫は、元旦の朝は寝ていたわけです。なんとユニークなお話ですね。暦や方位を指し示していた十二支を庶民に覚えやすくするため動物を割り当てたと言われているですが、身近にいる猫がいなかったのは、そんな理由があったようです。

の「ヒーロー」やゆずの「栄光の架け橋」が演奏されたことでもわかるように、今年には平昌で冬季オリンピック、そして再来年には東京オリンピックと、スポーツが話題となる年になりそうです。すべてを懸けた選手達の熱い姿に、たくさんの感動が届けられることでしょう。本校においても昨年は体育系、文化系を問わず様々な分野で生徒の皆さんの輝く瞬間がありました。私自身、一人の教師として皆さんの元気をもらいました。たとえ夢半ばに終わったとしても、その純粋な姿勢は多くの人々に生きる勇気を届けていたと思います。

教育の現場ではアクティブ・ラーニングがいよいよ現実のものとして取り入れられる時代となりました。私達の高校時代とは全く異なる教育形態が形成されつつありますが、よりよい教育環境を整えていきたいと考えます。時代は移り変わろうとも、校訓《柔しく剛く》を基盤とした人間教育は今後も変わることなく継続していこうと思えます。

今後とも生徒一人ひとりに寄り添い、生徒達の思いを共有してゆく教職員集団でありたいと思えますので、本年もよろしくお願い申しあげます。

吹奏楽部・合唱部

平成29年度島根県児童生徒学芸顕彰を受賞

時 12月21日
於 サンラボーむらくも

12月末、平成29年度島根県児童生徒学芸顕賞式が行われ、本校吹奏楽部・合唱部が学芸顕彰を受賞した。式には吹奏楽部副部長の梅里咲、合唱部副部長の淵崎夕規夏が参加し、教育長より授与された。この賞に甘んじることなく、更に飛躍できるように変わらぬ精進していきたい。



受賞全員が溝口知事を囲んで

中・高卓球部

中高とも各種大会で活躍 平成29年度島根県卓球選手権大会

時 12月16・17日
於 カミアリーナ

（男子団体） 2位
（男子シングルス）
3位 井上友希（13歳）、山本駿介（12歳）
（男子ダブルス）
優勝 井上友希・山本駿介 組

第27回西日本選抜卓球大会

時 1月4・5日
於 松江市総合体育館

（男子団体） 2位
【出場メンバー】
津村優斗（13歳）、武 凱（12歳）、
山本 歩（中3上）、三村悠斗（中3中）、
山腰洋平（中3中）

平成29年度全日本卓球選手権大会

時 1月15・21日
於 東京体育館

（一般男子シングルス）
2回戦敗退 山本駿介
（ジュニア男子シングルス）
1回戦敗退 井上友希
2回戦敗退 山本 歩
○大会総評

島根県選手権では団体戦とシングルスで優勝を逃したが、その後の西日本高校選抜大会では、全国合宿でレギュラー2人を欠く中、2位に入賞することができた。全日本選手権では上位進出はならなかったが、試合内容は今後に繋がるものであった。各大会で明確になった課題を日々の練習で克服し、今後の大会で活躍できるように頑張りたい。

（顧問 古瀬泰之）

なぎなた部

平成29年度島根権高等学校なぎなた新人大会

時 12月24日
於 本校 黎明館

〈個人競技の部〉

優勝 青戸真実 (25 北)

2位 原 出穂 (25 北)

3位 日野愛理 (14 晴)

○大会総評

本大会の結果、団体と個人上位3名が3月に行われる全国選抜大会に出場することになった。団体・個人ともに日本一を目標に稽古に励みたい。

(顧問 井上美代)

ソフトテニス部

県高校インドア選手権大会

時 12月23日
於 鹿島総合体育館

ベスト8 今岡純也 (13 晴)

日野坪雄大 (11 晴)

全国選抜中国地区予選

時 1月12〜14日
於 ローズアリーナ(福山市)

リーグ戦 2勝2敗

本校 ②-1 鳥取商業

本校 1-② 岡山南

本校 0-③ 広島翔洋

本校 ②-1 宇部工業

○大会総評

目標としていた全国選抜への出場は叶わなかった。チームとして技術面、意識面ともに不足していたと痛感した。夏に向け、もう一度色々な部分を見つめ直し



強化していきたい。遠方まで応援に来ていただいた保護者の方に感謝申しあげます。(顧問 佐々木雄志)

男子バスケットボール部

出雲地区高等学校新人バスケットボール大会

時 12月16・17日
於 出雲高校体育館

男女とも優勝

〔男子〕

決勝 本校 106-33 三刀屋

予選 本校 90-48 出雲

決勝リーグ 本校 65-49 大社

本校 91-61 出雲商業

※結果、男女とも県新人大会第4シード枠を獲得

第52回島根県高等学校バスケットボール新人大会

時 1月12〜14日
於 浜山体育館

男子 6年ぶり5回目の栄冠!

〔男子〕

2回戦 本校 91-48 浜田商業

準々決勝 本校 73-56 松江工業

準決勝 本校 58-55 松江東

決勝 本校 70-62 開 星

優勝

○大会総評

6年ぶり5回目の優勝を果たし、中国大会出場を決めた。いずれも接戦であったが、生徒の気持が試合に表れた結果であった。中国大会でも県の代表として上位を目指し頑張りたい。ご声援有難うございました。(顧問 椿 英史)

〔女子〕

2回戦 本校 71-31 松江市女

準々決勝 本校 63-48 出雲商業

準決勝 本校 61-74 松江東

3位決定戦 本校 61-52 松江農林

第3位 中国大会出場

○大会総評

新チームでの初の公式戦であったが、準決勝敗退と悔しい結果となってしまった。自分達を見失ってしまい、思うようなプレーができなかった。この悔しさを忘れず、この冬しっかりと練習に励みたい。当日は保護者の皆様から応援いただき有難うございました。(顧問 篠原勝利)

吹奏楽部

ウインターコンサート

吹奏楽マーチング全国大会出場報告演奏会

時 12月17日

昼の部 14時 開演

夜の部 18時30分開演

於 出雲市民会館大ホール

第11回目となる「ウインターコンサート」を開催した。本公演は、吹奏楽部の1年を締めくくるコンサートであり、3年生にとっては最後のステージとなった。

1部の吹奏楽では、本年度の吹奏楽コンクールやマーチングコンテストで演奏した曲目を吹奏楽で演奏した。

2部では、毎年恒例となった本校なぎなた部の演舞と吹奏楽の演奏のコラボレーションステージを披露したが、なぎなた部の迫力ある演舞にお客様から大きな歓声と拍手をいただいた。

3部は「007」をテーマにステージ

ドリルを行い、美術科の石倉先生、ダンス同好会顧問の八木先生のご助力をいただき、スベクタクルなショーとなった。

部員達は万感の思いを込めた演奏を披露し、素晴らしいコンサートとなった。

当日は2公演で160名を超えるお客様にご来場いただき、盛会裏に終えることができた。多方面にわたる皆様のご支援に感謝し、これからも地域に愛されるバンドを目指し、変わらず精進していきたい。(顧問 原田 実)



第41回全日本アンサンブルコンテスト県大会

時 12月24日

於 出雲市民会館大ホール

本校からは1チームが出場したが、美しい音色で素晴らしい演奏を披露し、会場を魅了した。結果、島根県代表として、2月に島根県民会館で行われる中国大会への出場権を獲得した。

中国大会では、更に質の高い演奏ができるよう精進していきたい。

(顧問 竹内康貴)

・金管8重奏 金賞・県代表

第7旋法によるカンツォン 第2番

G. ガブリエリ

合唱部

全日本合唱コンクール金賞受賞記念 第21回クリスマスコンサート

時 12月24日

於 ビッグハート出雲 白のホール

今回のコンサートは3部構成とし、クリスマスソングはもちろんのことアカペラ曲など、様々なジャンルの楽曲を披露した。

第2部「紅白歌合戦」では、紅組は今年もかわいいダンスと歌を披露し、白組は民謡などの全ての曲をアカペラで挑んだ。観客の方に投票していただくため、紅組も白組も白熱した演奏を披露した。今年度は初めて白組が優勝し、会場も大いに盛り上がった。第3部のミュージカルでは、「天使にラブソングを」を題材として選び、生徒達は短い時間の中で、衣装作りや、セリフを覚え、役作りに励んだ。高校3年生にとっては最後のステージとなったが、それに相応しく、十分に力を尽くした演奏会となった。

多くの方々に協力いただきましたこと、この場を借りてお礼を申し上げます。

(副顧問 渡部絢乃)



創立者 水谷キヲ先生

命 日 墓 参

本校創立者水谷キヲ先生の命日である

1月16日(火)に、平成30年度出雲北陵中学・高等学校の新生徒会長、副会長ら六名が墓参し、霊前に花を添えるとともに、墓前で生徒会の更なる発展を誓った。近年、中高生徒会の活動は活発化してきており、新会長のリーダーシップのもと新たな活動が実現されることが期待される。



- 中学校 生徒会長 神田真秀 (朝暉)
- 副会長 岡日輪乃 (朝暉)
- 副会長 本田真央 (朝暉)
- 副会長 篠原健甫 (23歳)
- 副会長 別所いづみ (25歳)
- 副会長 清水大成 (24歳)

一斉書写

平成30年を迎えた新学期、出雲北陵年始の伝統行事である「一斉書写」を、1月10日(水)一時間目に実施した。外は小雪が舞い、気温は低かったが、その分、気持ち引き締め、集中して筆に向かうことができた。正月に決意したこと、今年の目標をかみしめ、北陵生の平成30年がスタートした。



中学校

卓球部

卓球男子団体県総体3年連続優勝 (平成27年度〜29年度) 地区大会4年連続優勝 (平成26年度〜29年度)



県中学校体育連盟より、右記の賞をいただいた。この結果を更新できるよう、今後も日々の練習に精進していきたい。また、受賞チームとして恥ずかしくない

(顧問 相場翔太)

書初め

中学校では1月11日に書初めを行った。今回は一人ひとりが事前に書きたい言葉を決めてから行書体に挑戦し、楷書体とは異なる筆運びや点画に気をつけながら黙々と半紙に向かった。

(担当 八木世津子)



第3回 校外講師特別講座

時 12月19日

於 中高棟ホール

講師 NPO法人出雲学研究所理事長

荒神谷博物館館長 藤岡大拙先生

演題 「出雲の聖地・北山」

藤岡先生から話を聞かせていただき、出雲の神々まつわる神話や神社について、豊富な知識を興味深く講演され、出雲人としての誇りを持つことを改めて自覚させられる研修会となりました。住んでいる出雲や、いつも見ている北山の歴史が良くわかりました。土地や神社などの歴史を理解すると、見方や考え方も変わってきました。これからも、自分達が住んでいるふるさとの歴史を積極的に学び、さらに郷土に愛着を持ちたいと思います。

岡日輪乃 (朝暉)



作品と研究

中学校書初め作品より

中学生は今年の目標や抱負、大切にしたい言葉を選んで書初めをしました。各々、昨年を振り返ったり、今年がどのような年になるかを予想したりして、思い思いの言葉を選びました。一年生は行書体に初めて挑戦し、筆運びや点画の変化に苦戦しながら書き上げました。



「勝利」

山本 麻央(中1)が来年目標にしたい言葉は「勝利」です。私は、勉強面でも部活面でも友達に負けている部分があると思うので、来年は「勝利」という言葉を自分の目標として、大切な言葉として頭に入れてながら頑張りたいです。勉強ではテストで順位が上がるように毎日努力して、部活動のペースでは試合でも練習でも誰にも負けなように頑張って勝利したいと思います。



「向上」

三宅 輝也(中2)去年は「成長」の年でした。中学生になり、新しいことが次々と増え、それら乗り越えて行く度に成長してきたと思います。今年の漢字を「向上」にした理由は、この一年で成長したことをもつと伸ばしていこうという目標を持ったからです。この目標を忘れず、勉強面や部活動の面でどんどん向上していけるよう頑張りたいです。



「現状」

上田 日向(中2)現状とは、今を大切にするという意味です。過去の自分を越え続けるためには、今を最高にすればよいのではないかと考えて、この言葉を選びました。今でできないこと、これからはやらなければならないと思います。だから、今本気でやってみよう、これからも何事にも全力で取り組めるようになりたいです。



「努力」

森山由紀乃(中2)私は来年、誰よりも努力して部活動や勉強で結果を残したいと思ったので、「努力」を選びました。部活動では、まず松江に勝てるように、個人のスキルを上げ、ドリブルやシュート率を上げる練習をしていきたいと思っています。勉強では一日三時間勉強することをルールとして成績を上げていきたいと考えています。三年生になったら、総体や受験があるので頑張りたいです。



「不滅」

佐藤 輝(中3)どんなに苦しくても、受験勉強を頑張つて志望校に合格する。合格した後、サッカーと勉強の両立をしないといけない。勉強は、今とは比べられないくらい難しくなると思うけれど、頑張りたいと思う。サッカーの方も、朝が早くなったり、部活動が夕方遅くまであるかもしれないが、どんな時でも、前を向いて進んで行きたいと思う。だから、「不滅」を選んだ。



「文武」

山腰 洋平(中3)僕がこの言葉を選んだ理由は、高校では文武両道が実践できるような今以上に頑張りたいからです。去年は学業でも部活動でも思ったような成果が得られませんでした。だから、今年こそはどちらも良い結果がでるように取り組んで行きたいです。この言葉を大切にして、日々の鍛錬を怠らずに、普段から意識を持って努力して行きたいです。

今月の1枚 新年の飾り付け



美術部による北陵まちなか美術館 (出雲市今市町)